



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 大太平洋金属株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5541 URL https://www.pacific-metals.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤山 環 (TEL) 03-3201-6681  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,792	△5.9	1,336	—	3,264	51.6	3,074	18.5
2019年3月期第3四半期	36,988	23.1	△732	—	2,152	—	2,593	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,644百万円(267.6%) 2019年3月期第3四半期 991百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	157.60	—
2019年3月期第3四半期	132.97	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	74,195	67,009	90.0
2019年3月期	71,933	64,439	89.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 66,769百万円 2019年3月期 64,205百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	45.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,025	△8.2	1,410	699.5	4,313	24.9	4,084	10.6	209.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	19,577,071株	2019年3月期	19,577,071株
2020年3月期3Q	72,336株	2019年3月期	71,452株
2020年3月期3Q	19,505,297株	2019年3月期3Q	19,506,563株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策を背景に、雇用環境の改善及び個人消費の持ち直し等が継続する一方、企業収益は高水準を維持しつつも弱含んでおり、輸出は力強さを欠く動きで、緩やかな回復基調の中で弱さの見られる推移となりました。

海外経済については、中国経済は減速傾向にある一方で、米国は雇用・所得環境等は引き続き良好であり、また、欧州においても堅調な個人消費等が景気を下支えており、一部に減速感は見られるものの、概ね堅調な推移となりました。その中で、米国の保護主義的な通商政策の行方、英国の欧州連合離脱問題、金融資本市場の変動の影響及び中東における地政学的リスクの影響等、依然として先行きには不透明感を残しました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、LMEニッケル価格上昇に伴う原料価格の上昇等から収益性重視の体制強化を進めており、一定の稼働は維持しているものの、海外の一部生産者のステンレス製品が市場へ大量流入したことに伴って生産活動の調整が一部に見られ、事業環境に不透明感が増した推移となりました。

このため、フェロニッケル需要は、堅調であったものの、伸び悩みの状況で推移しました。

フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達先は、主要調達先のフィリピンにおける鉱業環境規制厳格化の方針が継続しており、一部の鉱山操業に影響は見られますが、当第3四半期連結累計期間における当社の鉱石調達量に影響はありませんでした。

ニッケル鉱石の価格に関しては、インドネシア未加工鉱石禁輸政策が一部緩和された影響で比較的落ち着いた水準で推移したものの、期中盤には、インドネシア政府は、同禁輸政策を2年前倒して再開すると発表したこともあって上昇傾向となり、今後の価格動向に不透明感を残しました。

ロンドン金属取引所(LME)におけるニッケル価格は、需給バランスは改善傾向であり、期中盤にインドネシア未加工鉱石禁輸政策の再開に伴う鉱石供給懸念の再燃等もあり上昇傾向となりましたが、一方で、世界的な貿易制限の影響及び依然不安定な原油等商品市況等もあって軟調な動きも見せており、比較的高価格ではあるものの一進一退の推移となりました。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、前第3四半期連結累計期間と比べ、海外向けが増加した一方で国内向けが減少し、全体では前年同四半期比4.2%の減少となりました。

フェロニッケル製品の販売価格は、価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は前年同四半期比3.5%上昇しましたが、当社適用平均為替レートが前年同四半期比1.9%の円高となったことに加え、不透明感の増す事業環境への対応等もあり、若干の価格安となりました。

このように、依然不透明感のある経営環境のもと、当社グループは、収益基盤をより一層強化させるため、省エネ・低コスト生産等によるトータルコスト削減を推し進め、また、最適生産体制構築のための設備強化及び鉱石の長期安定調達へ向けた取り組み並びに製品の優位性等を活かした機動的な販売体制の構築等に努めており、さらには、これらの取り組みを加速するため組織改編を行い、業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、連結売上高が34,792百万円、前年同四半期比では、5.9%の減収となりました。損益面では、営業利益は、たな卸資産の収益性改善に伴う簿価切り下げ額の戻入れ等もあって1,336百万円(前年同四半期営業損失732百万円)、経常利益は、持分法適用会社6社の持分法による投資利益1,718百万円の計上等もあって3,264百万円、前年同四半期比51.6%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,074百万円、前年同四半期比18.5%の増益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントはニッケル事業の単一報告セグメントへ変更しており、その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの資産、負債及び純資産については、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,261百万円増加し、74,195百万円となりました。

流動資産では、主な減少要因において次期設備維持更新投資に備えた在庫の積み増し等に伴った支出増の影響による現金及び預金の減少等はありませんでしたが、同様の理由で、在庫の積み増し等に伴う商品及び製品の増加等による増加要因もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ726百万円の増加となりました。

固定資産では、一部保有株式の市場価格上昇に伴う投資有価証券の増加等により、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ1,534百万円の増加となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ308百万円減少し、7,185百万円となりました。

流動負債では、支払手形及び買掛金の減少、未払費用の増加等の決済時期の影響等に伴う増減もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ335百万円の減少となりました。

固定負債では、連結子会社である㈱大平洋エネルギーセンターの解散及び清算に伴う退職給付に係る負債の減少等はありませんでしたが、一部保有株式の市場価格上昇に伴う繰延税金負債の増加等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ26百万円の増加となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,569百万円増加し、67,009百万円となりました。

株主資本は、利益計上及び配当金の支払い等を加減算し1,994百万円の増加、その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金の増加等により568百万円の増加及び非支配株主持分は6百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、LMEニッケル価格上昇に伴う原料価格の上昇懸念から収益性重視の体制となっており、また、海外の一部生産者のステンレス製品が市場へ大量流入したこともあって、業界全般の生産活動は大きく影響を受けており、不透明な環境が予想されます。そのため、当社フェロニッケル製品の販売については、最適な数量へ調整することにしております。

一方で、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、計画水準の価格帯での推移が予想され、一定の収益は確保できるものと見込まれます。

そのため、2020年1月31日付「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、連結業績予想及び配当予想を以下のとおり修正し、併せて前提条件につきましても見直しております。

## 《参考》

## 【業績予想の修正】

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年10月31日発表)	百万円 47,155	百万円 803	百万円 3,423	百万円 3,221	円 銭 165.14
今回修正予想(B)	45,025	1,410	4,313	4,084	209.39
増減額(B-A)	△2,130	607	890	863	
増減率(%)	△4.5	75.6	26.0	26.8	
(参考)前期実績 (2019年3月期)	49,062	176	3,451	3,693	189.37

## 【配当予想の修正】

(修正の内容 2019年4月1日～2020年3月31日)

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回発表予想 (2019年10月31日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 50.00
今回発表予想	—	—	—	45.00	65.00
当期実績	—	20.00	—		
(参考)前期実績 (2019年3月期)	—	20.00	—	35.00	55.00

## 【前提条件の修正】

	販売数量(t)			生産数量(t)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2019年10月31日発表)	14,889	15,111	30,000	16,271	15,556	31,827
今回発表予想	14,889	13,611	28,500	16,271	15,504	31,775
(参考)前期実績 (2019年3月期)	15,975	16,025	32,000	16,803	16,703	33,506

	適用LMEニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2019年10月31日発表)	5.90	6.67	6.29	108.52	109.33	108.93
今回発表予想	5.90	6.91	6.39	108.52	108.72	108.62
(参考)前期実績 (2019年3月期)	6.32	5.47	5.89	109.81	111.24	110.53

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,113	18,162
受取手形及び売掛金	8,255	8,745
有価証券	2,300	2,600
商品及び製品	5,375	7,572
仕掛品	277	295
原材料及び貯蔵品	4,863	6,536
その他	1,882	2,881
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	46,065	46,792
固定資産		
有形固定資産	9,146	9,150
無形固定資産	26	22
投資その他の資産		
投資有価証券	16,607	18,146
その他	92	88
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	16,694	18,229
固定資産合計	25,867	27,402
資産合計	71,933	74,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,101	869
未払費用	1,739	1,797
未払法人税等	80	35
賞与引当金	231	74
固定資産撤去費用引当金	76	—
その他	327	444
流動負債合計	3,557	3,222
固定負債		
退職給付に係る負債	925	775
繰延税金負債	550	859
再評価に係る繰延税金負債	743	745
環境対策引当金	15	13
訴訟損失引当金	20	20
契約損失引当金	1,673	1,540
その他	7	9
固定負債合計	3,936	3,963
負債合計	7,493	7,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	47,129	49,126
自己株式	△444	△446
株主資本合計	64,088	66,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	872	1,485
繰延ヘッジ損益	2	—
土地再評価差額金	847	852
為替換算調整勘定	△1,217	△1,314
退職給付に係る調整累計額	△386	△336
その他の包括利益累計額合計	117	686
非支配株主持分	233	240
純資産合計	64,439	67,009
負債純資産合計	71,933	74,195



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	36,988	34,792
売上原価	35,547	31,121
売上総利益	1,440	3,671
販売費及び一般管理費		
販売費	1,241	1,251
一般管理費	932	1,083
販売費及び一般管理費合計	2,173	2,334
営業利益又は営業損失(△)	△732	1,336
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	241	82
不動産賃貸料	78	99
持分法による投資利益	2,416	1,718
その他	261	180
営業外収益合計	3,001	2,084
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	46
外国源泉税	27	8
その他	87	100
営業外費用合計	116	157
経常利益	2,152	3,264
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	785	—
特別利益合計	787	0
特別損失		
減損損失	90	—
固定資産除却損	12	10
投資有価証券売却損	—	2
特別損失合計	103	12
税金等調整前四半期純利益	2,836	3,252
法人税、住民税及び事業税	139	125
法人税等調整額	99	46
法人税等合計	239	171
四半期純利益	2,597	3,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,593	3,074

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,597	3,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,136	611
繰延ヘッジ損益	28	△2
退職給付に係る調整額	36	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△534	△87
その他の包括利益合計	△1,605	564
四半期包括利益	991	3,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	988	3,638
非支配株主に係る四半期包括利益	3	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。